

【かなりん通信6号】

こんにちは！「かなりん」です。

今回のかなりん通信では、山にまつわる文化を皆さんに紹介したいと思います。

今日、12月9日は「冬の山祭り」の日です。冬の山祭りでは、山で働く林業関係者や木材を扱う製材業者など、山や木に関わる仕事をしている人たちが山の神様に感謝する日とされています。この日は山の神様が山の中を回っているなど諸説ありますが、共通しているのは、山に入ることが禁止されており、もし山に入り仕事をしたら怪我をすることとされていることです。かつては、この日から山に入らないとされていましたが、今では、林業関係者などの人たちはこの日は山仕事を休み、山祭りを祝う神事や日頃使っている道具の手入れをするなどしています。

山祭りの日程は地域によってばらつきがありますが、金沢市内では12月9日が冬の山祭り、3月9日が春の山祭りとするのが一般的のようです。

山祭りは山仕事に携わる人たちが山や木への感謝の心を忘れないように大切に受け継がれてきた文化なのです。

※写真は、今日、金沢森林組合で道具の手入れを行っていたときの様子です。

